

)さんへ

入院後のスケジュールです、入院時に持参してください

説明者氏名()

STA1600030

月日(日時)	／	／	／	／	／	／	／	
経過(病日等)	入院	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	術後3～4日目	術後7～8日目	術後15日目
達成目標	◇不安なく手術を受けることができる	→	◇創部に問題がない ◇血圧・脈拍が落ち着いている ◇創部の痛みがコントロールできる ◇創部に負担をかけず動くことができる ◇術後神経麻痺を起こさない	◇日常生活動作が徐々に自己で行えるようになる	→		◇退院後の注意点がわかる	◇入院時と同じ又はそれ以上の日常生活動作ができる ◇退院・転院準備が整う(退院基準) ・合併症の症状がない ・日常生活動作が拡大出来る
	転院に向けての準備を始めます						→	
							→	
							→	
治療・薬剤	飲み薬について確認します	医師が指示する薬のみ内服します	翌日まで持続的に点滴をします	抗生剤の点滴があります	→			
(点滴・内服)	カラーの確認をします 後頭部の剃毛をします	手術が2例目以降の方は点滴をします 手術用の寝間着に着替え、弾カストッキングを着用します	手術後からカラーを装着します 創部に管が入っています	カラーは医師の指示まで着用します	→	出血の量を見ながら 創部の管を抜きます	創の状態を見て 抜糸していきます	創の状態を見て 消毒が不要になります 合併症なく治療・検査が終了できたら退院になります
処置	浣腸をします(リハビリ終了後)		酸素マスクをつけています	痛み止めの内服をします 外します				
検査	血液検査があります			血液検査があります		血液検査があります	血液検査・レントゲン撮影があります	
活動・安静度	制限はありません	→	ベッド上安静です ベッドの頭部は上げられません 自分で寝返りができませんので看護師がお手伝いします	カラーを装着してベッドを90度まで起こすことができます。 排便時は、看護師が付き添い車椅子で移動します	自分で歩いて動けます		活動範囲の拡大出来たら退院の調整を始めます	
安全	ナースコールとベッド柵を2か所設置します 脱ぎ履きのしやすい運動靴の準備をお願いします				歩行が安定するまでは看護師が付き添います			
食事	制限はありません	0時以降は絶食です 麻酔科の指示により水分制限があります	→ お腹の音が確認できたら、水分摂取ができます	朝から食事が開始になります				
清潔	手術に向けてシャワーに入って、体と髪を洗ってください 爪切りをしてください	洗面・歯磨きをしてください 男性の方は髭剃りをしてください		体拭きをします		創部の管が抜けて翌日より入浴用のカラーをつけて全身シャワーができます	→	
排泄	制限はありません		尿の管が入ります ベッド上で便器を使います	車椅子で排便時のみトイレに行けます	尿の管を抜きます 歩いてトイレまで行けます			
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟の案内をします		痛みが強いときは痛み止めをしますので、遠慮なく言ってください		→			薬剤師より退院処方の説明があります
	術前リハビリがあります		足の血栓症予防の為、足の運動を行ってください	ベッド上でのリハビリが始まります		訓練室でのリハビリが始まります		
	禁煙はできていますか？ 薬剤師が、持参の薬剤とお薬手帳を確認します	指輪・時計・コンタクトレンズ・入れ歯は手術室に行く前に必ず外してください	手術が終わり次第、主治医から家族への説明があります。				退院後の注意点について説明します	診断書・証明書が必要な方は早めに提出してください
	手術に必要な物品が揃っているか確認します(すべて名前を記入して1つの袋にまとめてください) 担当の医療ソーシャルワーカー()がお話を伺いながら、転院・退院までの支援を行います	ご家族の方は整形外科のデイルームでお待ち下さい。 席を外される際は必ず看護師にご連絡ください	手術が終わり面会が可能になりましたらお知らせいたします(小さいお子様はご遠慮ください)			歩行可能となり、医師の許可が出ればストッキングを外せます		退院後にご不明な点があれば、整形外科外来もしくは病棟へご連絡下さい。連絡先は、退院指導パンフレットを参照下さい

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 整形外科 西棟9階病棟

2023. 7改訂